

土壌水分目視計 大豆用 型番:NF-20S

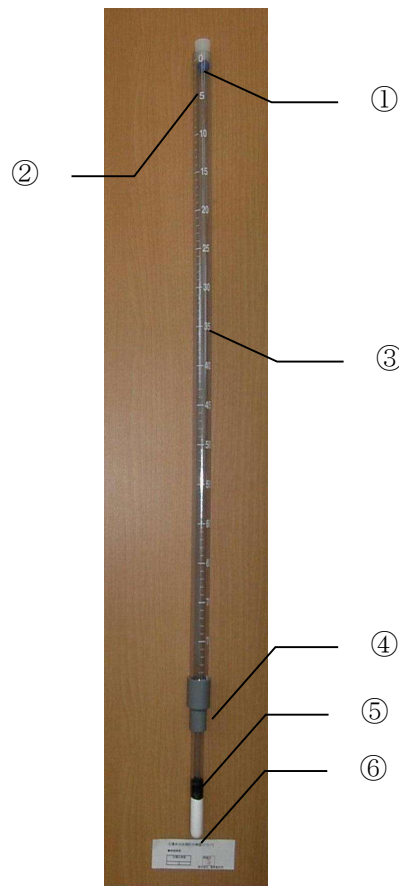
はじめに

本器具は土壌に埋設し、その土壌の乾燥度合いを指示値（パイプ内の水位）で判断する器具です。主に黒大豆のかん水のタイミングの判断に利用できます。

各部名称

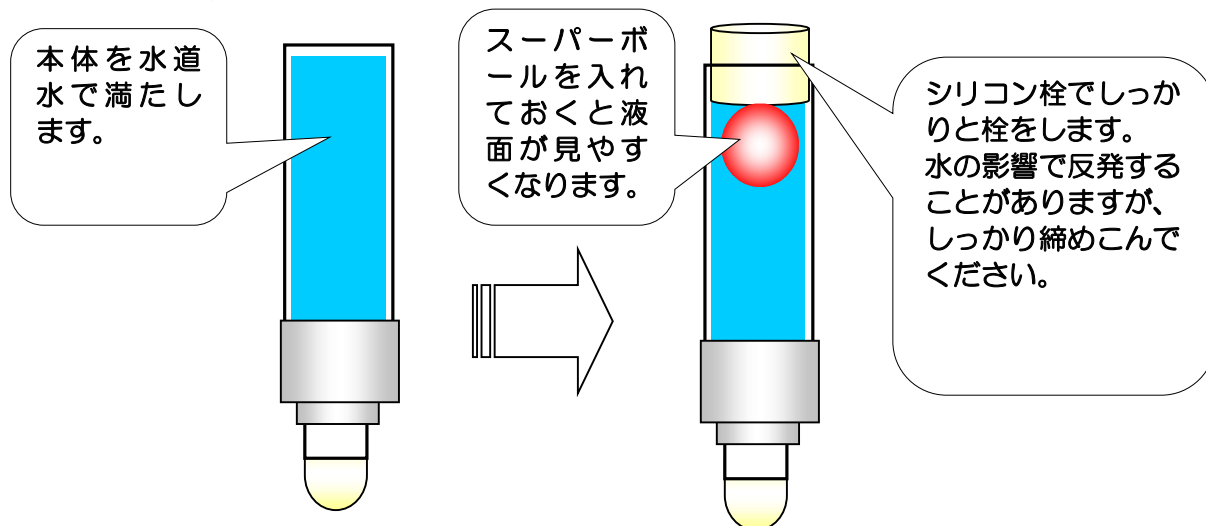
- ①シリコン栓
- ②スーパーボール
- ③目盛り付パイプ
- ④異径ソケット
- ⑤パイプ（小）
- ⑥ポーラスカップ

本体（③～⑥）は分割できません



使用方法

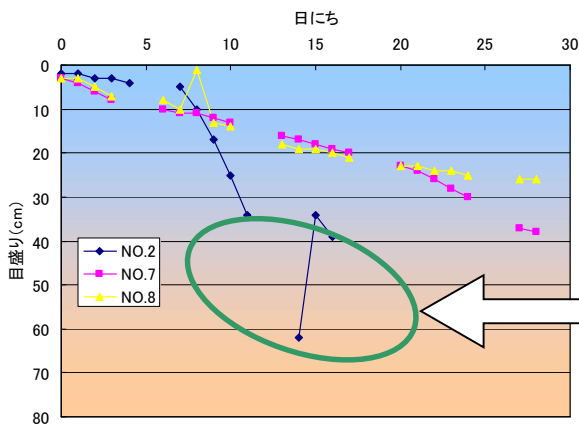
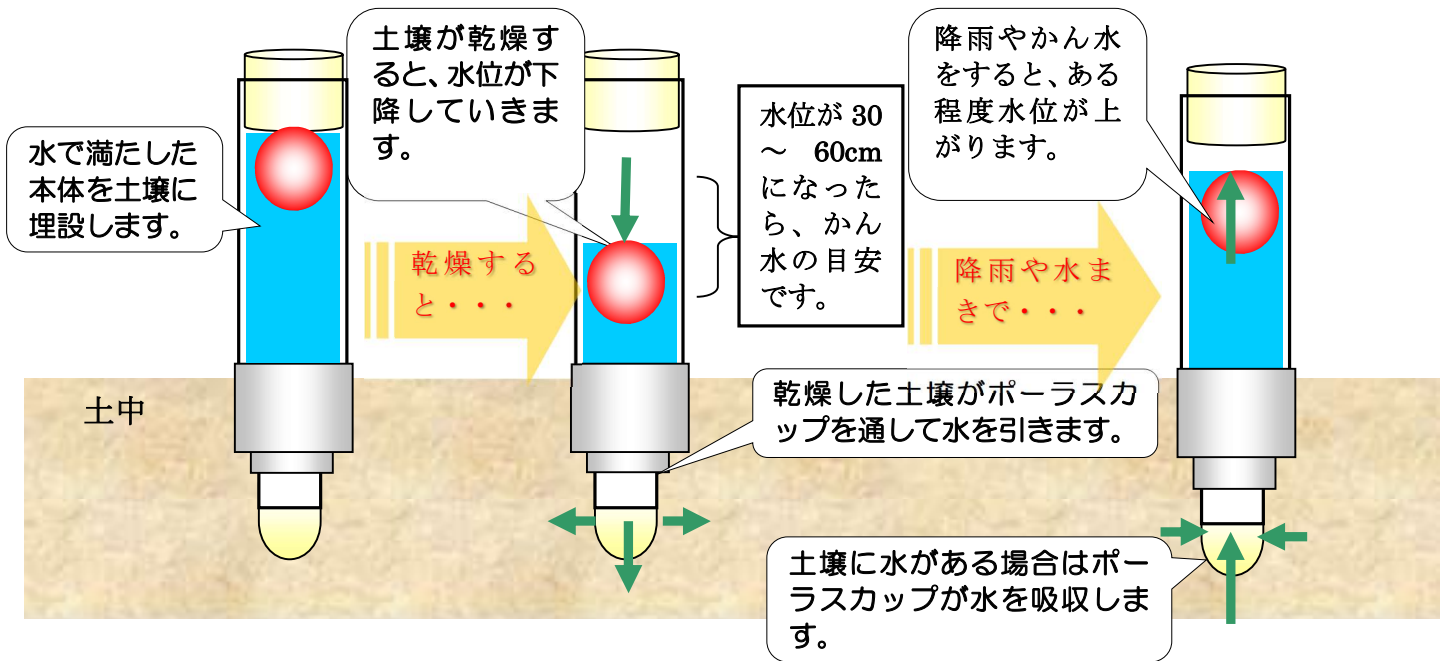
- ① **本体**に水道水を静かに溢れるまで流し込み、**シリコン栓**でしっかりと栓をします（付属の**スーパーボール**を入れておくと水位が見やすいです）。



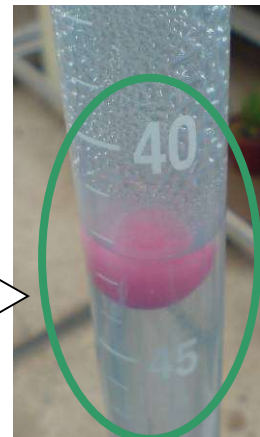
- ② 測定したい土壌に深さ約 20cm、パイプの径よりやや大きめの穴をあけ、上から土をかけるなどしてポーラスカップが土壌と良く密着するように本体を垂直にやさしく挿入してください。



③ 土壌が乾燥してきますと、ポーラスカップから水が浸み出しパイプ内部の水面が下がってきますので、**乾燥の目安**となります。パイプ内の水位が 30cm～60cm の間になったらかん水してください。かん水や降雨によりパイプ内の水面はある程度上昇いたします。



水位が 30～60cm になったら、かん水の目安です。



④ ③の状態が繰り返されたり乾燥状態で放置したりしますと、内部に空気（気泡）が入り、かん水や降雨後も水面が上がらない状態になります。再度①の手順のように水を補給してご使用ください。

取扱上の注意点

- ・ポーラスカップは壊れやすいので取り扱いには十分注意してください。
- ・使用中にヒビ割れたものや破損したものは正しい指示値を示しませんのでご使用にならないで下さい。
- ・土中から引き抜く際は周りの土を掘り起こすなどした後、ゆっくり引き抜いてください。乾燥して締まった状態の土壌から急激に引き抜いたりしますと、破損の原因になります。
- ・保管される場合は内部の水を抜き、ポーラスカップが汚れないように保管してください。また、衝撃や振動を与えるとヒビなど破損の原因になります。
- ・本体から水を抜く際は必ずシリコン栓を抜いてから本体を傾けてください。栓をしたまま逆さにして、

(国研) 農研機構西日本農業研究センター特許第 4840803 号

株式会社 藤原製作所

本社 東京都北区西ヶ原1丁目46番16号
〒114-0024 TEL 03-3918-8111(代表)
FAX 03-3918-8119

E-mail: info@fujiwara-sc.co.jp
URL: <http://www.fujiwara-sc.co.jp>